

平成30年度学校関係者評価のまとめ

県立明石高等学校

- 1 評価機関 学校評議員会
- 2 評価者 学校評議員6名
- 3 開催日時 平成31年2月21日(木) 15:30~16:50
- 4 学校自己評価に対して出された意見
 - ① 「生徒指導」
 - ・地域のコミュニティーでは明高生のマナーは高いと感じる。自転車通学やバス通学についてはさらに指導が必要。
 - ・いじめがないのはいいことだが、大津事件の賠償判決も先日あった。タイムリーで生徒に賠償金の話等をしてはどうか。
 - ② 「新学習指導要領・カリキュラム」
 - ・学習指導要領の改訂に向けて、資料を見て研修を受けながらカリキュラムを作り上げていくことは大事なことである。職員の協同体制で進めてほしい。
 - ③ 「学力向上・進路指導」
 - ・大学入試改革に向けて、よりいっそうの努力を行ってほしい。情報をどう手に入れるかが難しいがアンテナをしっかりとっておくことが肝要と考える。
 - ・中学生やその保護者にとって行きたい学校というのを決める判断にはやはり高校卒業後の進路である。
 - ④ 「学校経営」
 - ・高大連携で地元の大学に働きかけることも大事である。
 - ・地域の高校での競争だけでなく、協同してレベルアップを図ってほしい。
 - ⑤ 「SNS問題」
 - ・SNS問題は、教師の知らないところで情報が飛び交っている。生徒は想像力に乏しいので、放置しておくとう突然の事件に見舞われることがある。
 - ⑥ 「その他」
 - ・大蔵海岸の清掃活動をされているそうだが、今年は明石城築城400年になる。明石公園や中部さんの銅像近くまで広げてほしい。